

研究データ管理のための図書館員の能力要件

任務領域	業務内容	備えておくべき知識	理解しておくべき事柄	必要とされる能力	関連業務等
データへのアクセスの提供  (職名の例) ● データライブラリアン ● 社会科学データライブラリアン ● 地理情報システム(GIS) ライブラリアン	データセットの存在と所在の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在運用されているデータ・センター、リポジトリとコレクションについての知識、およびデータ・ディスカバリーの仕組みについての知識</li> <li>● データの操作・分析技術とツールについての知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コレクション内データの組織化・構造化手法についての理解</li> <li>● データ許諾と知的財産に関する理解</li> </ul>		類縁性の高い業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>● オープンアクセス及び機関リポジトリ</li> <li>● コレクション構築</li> <li>● 参考情報サービス(著作権、方針等)</li> <li>● 情報リテラシー</li> <li>● デジタルキュレーション</li> </ul>
	データへのアクセスと再利用条件についてのサポートの提供				
	データを理解し再利用するために必要なソフトウェア/コードの確認				
	情報化、発見および分析ツールに関するアドバイス				
	データの引用と参照についてのサポートの提供				
データ管理への提言と支援  (職名の例) ● データ管理スペシャリスト ● データ支援責任者 ● 研究データ支援責任者 ● データ管理計画コンサルタント ● 研究データ管理プロジェクト責任者 ● 研究データ管理サービス開発者 ● デジタルリサーチライブラリアン ● 研究データ管理コーディネーター	方針と提唱 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究データ管理の利点を明確にする。</li> <li>● データ共有と再利用を促進する。</li> <li>● 関連する研究データ方針について教育する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 助成機関のポリシーと要件に関する知識</li> <li>● データ・センター、リポジトリ、およびコレクションに関する知識</li> <li>● データの構造、種類、フォーマット、用語、概念、およびメタデータに関する最適な実践例の知識</li> <li>● データの構造、種類、フォーマット、用語、概念、およびメタデータに関する情報の検索方法についての知識</li> <li>● データ管理計画とそのツールについての知識</li> <li>● 学術雑誌におけるデータ出版要件に関する知識</li> <li>● データ共有の方法、オープンアクセス、知的財産権、許諾に関する知識</li> <li>● データの引用・被引用に関する実際の知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究の実務とワークフローについての理解</li> <li>● データ管理上必要な学問的規範と基準に関する理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データ共有・再利用の利点、必要性を明確に説明する能力</li> <li>● データの精査・評価ツールを運用する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル保存</li> <li>● デジタルコレクション</li> </ul> 協働することになる相手 <ul style="list-style-type: none"> <li>● データ作成者</li> <li>● データサイエンティスト</li> <li>● 研究コーディネーター/管理者</li> <li>● データキュレーター</li> <li>● デジタル保存ライブラリアン</li> <li>● リポジトリ管理者</li> <li>● サブジェクトライブラリアン</li> <li>● 法律顧問</li> <li>● 研究倫理アドバイザー</li> <li>● データアクセス管理者</li> </ul>
	支援と育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>● RDM の必要性和オプションに対する意識を高める。</li> <li>● データリテラシー(メタデータ規格、形式など)を教える。</li> <li>● RDM プランの完成を支援する。</li> <li>● 効果的なサービスワークフローを特定する。</li> <li>● データの規格や形式、メタデータ規格を特定する。</li> <li>● 保管のためのリポジトリまたはデータアーカイブを特定する。</li> <li>● ソフトの管理について助言する。</li> </ul>				
	データの監査 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学内のデータセットの範囲を特定する。</li> <li>● データキュレーションのプロフィールを開発する。</li> </ul>				
データコレクションの管理  (職名の例) ● 研究データ管理者 ● 研究データサービス管理者 ● データリポジトリ管理者	データコレクション <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保管のためのデータを用意する。</li> <li>● リポジトリへ登録するデータの評価、選択、および取り込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メタデータ基準、およびスキーマ、データフォーマット、ドメイン・オントロジー(特定分野における概念や用語の共有)、各種 ID、データ引用、データ許諾に関する知識</li> <li>● ディスカバリーツールに関する知識</li> <li>● データベースの設計(種類と構造)に関する知識</li> <li>● データのリンク・統合技術に関する知識</li> <li>● データリポジトリとストレージ・プラットフォームに関する知識</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● データセットを選択し見積もる能力</li> <li>● 研究データを積極的に管理する能力</li> <li>● デジタル保存活動へ参画する能力</li> <li>● 科学的手法をデジタルキュレーションに応用する能力</li> </ul>	
	データ管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>● データコレクションとメタデータの管理</li> </ul>				
	データ保存 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 信頼性を確保する。</li> <li>● デジタルメディアの更新とデータの移行</li> <li>● バックアップと保存</li> </ul>				

免責事項：本翻訳は JPCOAR 人材育成作業部会による研修体系検討の予備的資料とするために行われた。対象両文書の「日本語版」を称するに足るクオリティは目指されておらず、分担作業上、翻訳にあたっての術語の統一の配慮等も行っていない。両文書の詳細・正確な理解のためには原典にあたられたい。

翻訳作業：片岡朋子(お茶大)、今野智子(甲南大)、下城陽介(上教大)、杉田茂樹(上教大)、長嶋岳生(室工大)、花崎佳代子(神戸大)、前田隼(北大)